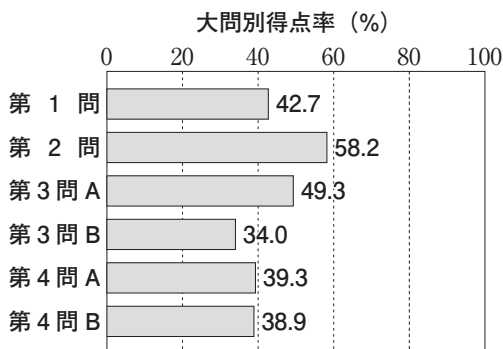
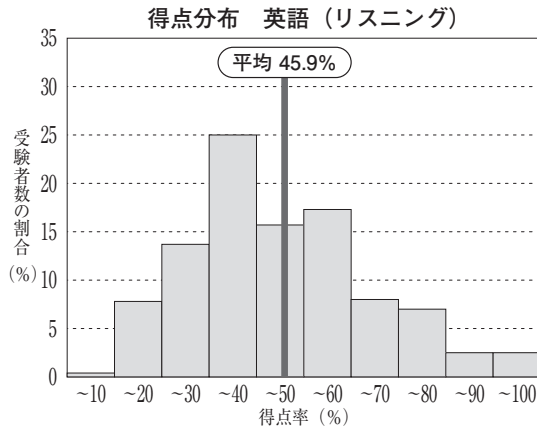


英語(リスニング) [高2生部門]

多様な英文と設問形式への対応力を高めよう。

I. 全体講評

今回のリスニングの平均点は23.0点、得点率にして45.9%という結果だった。最終目標はさらに上に置くべきであるが、この結果は現段階での力を測る尺度となる。パートによって出来不出来があるが、そのすべてにおいて今後の底上げを期待したい。大問別の得点率を見ると、最高が第2問の58.2%、最低が第3問Bの34.0%であり、他の大問はいずれも30~40%台の範囲内だった。第4問については、ABともに本文の長さがハードルになっているが、それだけにここで好成績を取れば大きな差をつけることにもなる。リスニングでの高得点を目指し、耳のトレーニングを怠りなく続けてほしい。



II. 学習アドバイス

センター試験本番までの1年間の時間を有効に使い、1問でも多く正解を得られるように対策を行おう。特に、もともとリスニングに苦手意識がある人は英検3級程度のリスニング問題から学習を進めてもらいたい。今回の模試はこれまで継続してきたセンター試験の内容に沿っている。高2生のみなさんが受験する2020年度センター試験でも、これに近い形式・内容の問題が出題されると予想される。当然ながら、その傾向に沿った問題に対する習熟度を高めておく必要がある。比較的リスニングを得意とする人でも、苦手なタイプの設問があれば、そうした問題を何度も見直しておくようにしたい。

リスニングが苦手な人は、最後まで音声そのものに慣れる練習を続けるべきである。1日に5分でも10分でもよいから、毎日英語を聞いて耳を慣らしてもらいたい。そして、耳の感覚をそのまま研ぎ澄ました状態で本番に臨んでもらいたい。最も大切なのは、「集中して聞く」ということだ。他の勉強をしながらBGM代わりに英語を流しても、全く効果はない。単語や熟語の暗記と同様に、最後の一日まで努力を続けることによって、少しでも力をアップさせてセンター試験当日を迎えるようにしよう。

今回初めてセンター試験形式の問題を解いた人は、センター試験で出題されるリスニング問題のイメージが掴めただろう。約30分間集中して英語を聞くことの大変さを味わった人もいるかもしれない。リスニングといっても、まずは内容を理解するために必要な語彙力・文法力などの基礎力を固めることが先決なので、あせらず基礎固めを行うこと。また、英語を頭から理解する必要があるリスニングの学習は、知らず知らずのうちに英語力全般の向上にもつながるので、基礎固めを終えた人は積極的にリスニング学習を行おう。そのために大切なことは、日頃から英語の「音」を意識して学習すること。とくに、英語の音は聞くだけでなく、積極的にその音を真似て自分で発音してやる必要がある。文法や語彙の学習時にもしっかり声に出して読

んでみることをすすめたい。毎日少しでも英語を耳にする環境を作り、また自分で音読することを習慣にしたうえで、リスニングの問題演習に取り組もう。